

石川連協たより

2018年7月1日：発行
JP労組石川連協退職者の会
<石川連協幹事会>

JP労組石川連協退職者の会「第4回定期総会」

<2018年7月29日(日)>

2018年度活動計画（案）



I はじめに

1. 石川連協退職者の会は昨年の「第3回定期総会（2017年7月30日）」において、会員をサポートする世話役活動を前進させながら、楽しく頼りがいになる組織づくりと拡大行動に取り組んでいくこと確認しました。
2. 会員数はこの1年間で19名減少となりました。新規加入者が2名、死亡退会が15名、希望退会が6名で会員数は595名となっています。残念ながら減少を歯止めできませんでした。
3. 来年7月の第25回参議院選挙ではJP労組は組織内候補「小沢まさひと」を擁立します。必勝に向け総力を挙げ支援の輪を広げていくこととします。組織の拡大も「小沢まさひと」勝利につながります。情熱をもっての拡大活動が必要です。
4. 来春には統一地方選があります。退職者の会はJP労組推薦候補の勝利に向け、各選挙区で現役組織と連携して活動していくこととします。統一地方選での頑張りは「小沢まさひと」勝利に連動します。各支部の奮闘を期待いたします。
5. 連協・支部における親睦活動、会員へのサポート活動が組織力となります。今後の各種選挙の勝利と組織拡大に向け、「楽しく頼りがいがある」組織づくりに取り組んでいくこととします。

II 1年間を振り返って

1. 会員拡大の取り組み

- (1) 純増を目指し拡大に取り組みましたが、この1年間で新規加入者が2名であり死亡・退会・希望退会が大きく上回り、総数で19名減少となりました。
- (2) 「第3回連協総会」では1年間で23名の新規加入があったと報告しています。未加入者が高齢化し呼び掛けてもなかなか加入してもらえない。また、新規退職者の減少などが要因といえます。
- (3) こうした中、拡大に向けた意識・情熱が薄れてきていることも否めません。今後は入会してもらえる拡大行動について、議論を深めていく必要があります。

2. 協力会員への取り組み

昨年、退職後も再雇用や期間雇用で働くJP労組組合員を協力会員とする制度を発足しました。協力会員名簿を作成し、退職後の会への理解を深めていただくため、退職者の会が発行する会報の郵送を行ってきました。

3. 連協行事の開催

2018年3月25日～26日、湯涌温泉「かなや」において会員63名（他に現役組合員6名参加）が参加して、石川連協退職者の会「第4回交流と学習の集い」を開催しました。学習会では『変わりゆく介護保険制度』をテーマとした田中美絵子（前衆議院議員）さんの講演を受講しました。



4. 情報の発行

『北陸退職者の会会報（14号～17号）』の「石川連協たより」に連協および支部における活動について周知・報告するなどの記事を掲載してきました。また、各支部が作成した会報・情報などを各会報と合わせ、同封発送を行ってきました。

5. 会議の開催

4回の幹事会を開催し、連協・支部の活動について意思疎通・意識統一を行ってきました。連協幹事は活動の全体化と共有化に向け、支部の幹事会・行事に積極的に参加してきました。また、本年4月11日、地方幹事と各支部代表の総勢45名（石川連協19名）が集まり「合同支部幹事会」が「小沢まさひと」組織内候補者迎え開催されました。

6. 共済活動の推進

各種共済商品には多くの退職者が加入しています。連協・支部における会議・行事において共済学習会や説明会を併合開催し、共済商品の加入継続・促進に取り組んできました。JP共済生協又はJP労組から開催の都度、経費負担があり結果として連協・支部財政の負担軽減がはかられました。

7. 石川県退職者連合の活動参加

石川連協退職者の会から役員を派遣し、連携しながら高齢者が抱える諸課題の前進に向け活動してきました。石川県退職者連合が取り組む加賀市橋立自然公園「竹林伐採ボランティア」（年間2回）には南加賀支部から多数の会員が参加しました。また、退職者連合主催のグラウンドゴルフ大会（金沢市）には5チーム（23名）が参加しました。



III. 2018年度の具体的な活動

1. 会員相互の「親睦と交流」

連協・支部において「会員が集まり楽しむ」活動の前進をめざしていくこととします。連協行事として第5回「交流と学習の集い」を能登支部と連携し、能登方面において一泊で開催することとします。

2. 会員への「世話役活動」

「会員を生涯に亘りサポートする」ことが退職者の会の基本理念です。現役組織とも連携し、相談に乗り・助け合う「世話役活動」の推進をめざしていくこととします。

3. 会員拡大の取り組み

- (1) 会員の減少を重く受け止め、純増を目指していきます。未加入者へは創意工夫した呼び掛けを粘り強く行っていくこととします。
- (2) 再度、未加入者名簿を作成・活用し、役員・会員が友人・知人に加入を呼びかけることを要請します。若年の未加入者には現役の支部役員の方に協力を求めていくこととします。
- (3) 新規退職者へは現役組織と協議し、加入に結び付く呼びかけ活動を検討し実施していくこととします。
- (4) 協力会員については、退職時期の把握ができず加入呼びかけが行われていない状況にありましたが、現在は北陸地本の名簿管理により若干遅れることがあつても退職時期が把握できています。速やかな加入勧奨に取り組むこととします。
- (5) 来年の参院選までは「小沢まさひと」後援会加入と合わせ、総力を挙げ拡大活動を行っていくこととします。

4. 政治活動の取り組み

- (1) 来年7月の参院選では、JP労組組織内候補「小沢まさひと」の勝利に総力を挙げて取り組むこととします。
- (2) 「小沢まさひと」後援会加入目標（会員×3人）を早期に達成し、「小沢まさひと」の名前を会員・支援者に浸透させるため効果的な取り組みを行っていきます。
- (3) 来春には統一地方選があります。JP労組推薦候補の勝利に向け各選挙区で現役組織と連携して活動し、「小沢まさひと」勝利につなげていくこととします。

5. 平和活動の取り組み

安倍政権は衆・参で3分の2の勢力を持ち、憲法9条の改正を標榜しています。安心して暮らせる社会を継続していくため、JP労組が取り組んでいる平和行動や退職者連合の平和活動には、積極的に参加していくことします。

6. 石川県退職者連合との連携

高齢者が不安なく生活していく社会保障制度の充実に向け、石川県退職者連合と連携し活動していきます。また退職者連合が取り組むボランティア活動やレク行事にも積極的に参加していきます。

7. 各種共済商品の加入促進

JP共済生協、(株)郵愛の各種商品については助け合い制度として、会員が集まる機会に周知と加入呼びかけを行っていくことします。また既加入者には継続加入をお願いしていくこととします。

8. 広報活動の取り組み

『北陸退職者の会会報・石川連協たより』を活用し連協・支部活動の周知報告を行っていきます。また、支部における会報・情報の発行を支援していくこととします。

9. 各種会議の開催

連協幹事会は年4回を基本開催とし、JP労組石川連協と協議し必要となった場合は適時開催することとします。第5回定期総会は、北陸地方退職者の会「第5回定期総会」終了後、開催することとします。

《JP労組石川連協退職者の会「第4回定期総会」案内》

1. 日 時 2018年7月29日（日）
10時30から13時まで
2. 場 所 ITビジネスプラザ武蔵「研修室1」(5F)
〒920-0855 金沢市武蔵町14-31
TEL076-224-6340
3. 協議事項
 - (1) 2017年度「活動・会計」報告
 - (2) 2017年度「会計監査」報告
 - (3) 2018年度「活動計画・予算」（案）
 - (4) 役員改選（案）
 - (5) その他
4. 構成員
 - (1) 連協幹事（12名）
 - (2) 支部代表（18名）
 - ・能登（4名）
 - ・石川中央（7名）
 - ・南加賀（4名）
 - ・郵政金沢（3名）
 - (3) 会計監査（2名）
 - (4) JP労組石川連協議長、又は担当役員

石川県退職者連合「メーデー協賛行事」

第十八回グラウンドゴルフ大会

JP労組退職者は元気に奮闘♪

五月十六日、さわやかな好天の下、金沢市民芸術村の大和町広場において、石川県退職者連合主催のメーデー協賛

「第十八回グラウンドゴルフ大会」が、県内各地の退職者組織から一二三九名が参加し開催されました。

JP労組退職者は元気に奮闘しました。

JP労組退職者の会からは、能登支部二チームと石川中央支部三チームの一・二十三名が、三十一ホールでの競技を元気にプレーしました。

我がJP労組退職者は大いに奮闘し、チームによる団体戦では惜しくも入賞（五位まで）には届きませんでした。

が、全参加者による個人戦では、石川中央支部の富田義孝さんが六十七点の好スコアで見事、準優勝を果たしました



竹林伐採ボランティア

♪筍堀りで竹林環境の保全♪

四月二十五日午前九時三十分から、加賀市橋立自然公園の竹林整備の一環として、石川県退職者連合の仲間六十七名が、筍堀りに取り組みました。JP労組退職者からは十六名が参加しました。

当時は、あいにくの雨天でしたが、今年は筍の「表年」とのこと、短時間の作業で

大収穫となり、公園側からは「竹林の密生阻止となり感謝します」とコメントをいただきました。

作業後、採れたての筍が並べられ、参加者それぞれが質きました。

その後、JP労組退職者は加賀市内の温泉施設「ゆめのゆ」に集まり、雨と汗でビッ



ショリの体を入浴でさっぱりさせ、夙食懇談会を開催しました。久しぶりに再会したみんなでの筍堀り、温泉に入つてからの懇談会と参加者は楽しい一日を過ごしました。



「共済」とは
助け合い・
支え合いの制度

— ひとりは万人のために 万人はひとりのために —

JP共済生協はJPグループで働く仲間の共済生協です

退職後も一定条件を満たせば新規・継続OK！

▶退職後、JP共済生協の共済を利用するには

退職時の満年齢が45歳以上で、下記【条件1】または【条件2】のいずれかに該当する方は退職後もJP共済生協の各種共済をご利用いただけます。

【条件1】JP共済生協の加入期間が通算して10年以上であること

【条件2】郵政関連企業での勤続年数が通算して15年以上であること

▶お問い合わせは



〒151-8591

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-20-6

▶火災共済・自然災害共済、交通災害共済

0120-562-105 受付 9:00~17:45 (土・日・祝日除く)

▶マイカー共済

0120-562-100 受付 9:00~17:45 (土・日・祝日除く)

▶Web [ポストライフ](#)

交通災害共済

交通事故のリスクに備える！

自動車に
乗っている事故
だけが
交通事故では
ありません！



自転車搭乗中のケガ



ホームでの
転倒によるケガ

バス乗車中のケガ

「基本制度」+「保障制度」で
死亡・障害・療養・入院だけでなく、
通院・手術まで幅広く保障します。

火災共済 自然災害共済

考えよう住宅災害対策

火災共済

火災等の被
害は「再取得
価額」で保障
します。

特約

2015年1月
1日効力開始契
約より、新しく借
家人賠償特約が
付帯できるよう
になりました。

自然災害共済

自然災害共済をセッ
トすることで、火災共済では対象とならない
地震等の被害も保障。さらに風水
害等の被害の保障が充実します。

マイカー共済

組合員のカーライフを
バックアップ！



お手頃な
掛金で
充実した
補償！

最大22等級
64%割引

対人も対物も
「無制限」が
オススメ！

サポート
体制も充実

まずはお見積りを！